

朝から冷たい雨に打たれる東高の校舎、グラウンド、体育館。

3月6日午前10時、学校関係者、保護者、同窓生など約350人が見守る中、最後の卒業生となる47人が式場である体育館に入場しました。卒業生全員の左胸には同校教職員手作りコサージュ、右胸下には今福長寿会婦人部手作りのリボンが付けられていました。

卒業証書授与式では、小川琢次校長から食品科学科と商業科の代表者に卒業証書が授与されました。また小川校長は、式辞で「松浦東高の有終の美という大きな花を咲かせてくれました」と卒業生にはなむけの言葉を送りました。

卒業生代表挨拶では、生徒会長の川原忠貞君が「私たちが卒業するときは学校が終わるとき。この事実と向き合いながら、私たちは3年間多くのことを学んできました。私たちが成長したと胸を張って言えるのは先生や保護者、地域の方々のおかげだと感謝します」と学校、保護者、地域への謝意を述べました。



## 最後の卒業式

地域の人々の心に残る  
「東高の有終の美」を飾った  
47人の卒業式が、同校体育館で行われました。



### Interview



生徒会長

川原 ただつく 忠貞 君 (食品科学科、18歳)

#### 感謝の気持ちでいっぱいです

東高での3年間を振り返ってみると、日々の学校生活そのものが一番楽しかったなと思います。

支えてくださった先生方や地域の方々皆さんの応援があったからこそ、自分たちは今日この日を迎えることができました。卒業するに当たり、皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。





# 地域とともに歩んできた東高 閉校記念式典などで別れを惜しむ

## 閉校に伴う卒業生を送る会

卒業式・閉校式の2日前の3月4日、東高体育館前には今福保育所園児、今福小5年生、今福長寿会連合会会員、今福町婦人会会員、同窓生など約150人が集まりました。

今福町の住民有志が、これまで東高生からたくさんのお元気をもらったとして、心から感謝と惜別の気持ちを含めて卒業生を祝福したいと同会実行委員会（田中守代表）を立ち上げ、地域住民に呼び掛けていたのです。

この日、東高生に今福保育所園児から手作りのメッセージカードが渡され、今福長寿会から手作りのリボンが東高生の胸に付けられました。また、東高の施設管理補助員として11年間東高とかかわってきた徳永立男さんが、卒業生47人全員にメッセージを送りました。

会の最後は、参加者全員が2人1組でアーチを作り、卒業生を送り出しました。



東高は、地域と身近にかかわり、地域とともに歩んできました。そんな東高に感謝の気持ちを送りたいと地域住民も動きました。

田中 <sup>まもる</sup> 守 さん（今福・恵比須町、76歳）

**こんなに地域に浸透している高校は  
ほかにはありません**

東高は今福町のシンボリック的存在でしたので、閉校することになってとても残念です。

東高生は、町内の行事の多くに協力してくれ、若い力を私たちに与えてくれました。東高生は、地域を発展させないといけないという思いが強かったように思います。こんなに地域に浸透している高校はほかにはないでしょうね。

### Interview

